Corporate × on-site　ともに働く 職場紹介　小売業

株式会社トキハインダストリー





Corporate data
〒870-0161
大分市明野東一丁目1番1号
TEL.097-553-1111

多様な人材が長く活躍できる職場

大分県内に23店舗を構えるトキハインダストリーには、現在35名の障がい者が在籍。障がい種別は知的障がい・精神障がい・身体障がいと幅広く、精肉、海産、グロサリー、ギフト、衣料品など、それぞれの適性に応じた部門で力を発揮しています。大きな特徴は、入社後のミスマッチを減らすために特別支援学校やなかぽっを通じた実習に力を入れていること。適性を見極めたうえで雇用に進む〝双方が安心できる採用の仕組み〟が高い定着率を支えています。

雇用を見据えた実習でミスマッチを減らす

実習の受け入れは、その先の雇用を見据え、できるだけ人材を募集している店舗・部門で実施。雇用後に無理なく通勤できるかなどの生活環境も重視します。「実習の際は雇用後に生かせるよう、入社後に担う可能性のある業務を中心に経験してもらいます。見るポイントは、仕事の適性に加え、接客に必要なコミュニケーションが取れるか、指導内容を理解できるか、生活面が安定しているかなど。特に生活の乱れは仕事に影響しますから」と人事課の陶山さん。採用の可能性が高まれば、実習後に障がい者のための委託訓練※を追加したり、短期アルバイトとして受け入れて、より実践的な経験を積んでもらったり…。段階を踏みながら、本人と店舗双方が納得できる形で雇用につなげているからこそ、トラブルはほとんどありません。

※県の事業。受入企業には訓練委託料が支払われます。



▲総務人事部 人事課 担当課長 陶山 昌行さん

小売業（スーパー/グロサリー部門）の切り出し事例

切り出しなしの工程　切り出しありの工程　障がいのある社員が担当する作業
すべて　一部　工程の業務のうち任せている範囲

	納品 入荷作業	品出し 商品の補充・陳列	売場整理 商品の整理	店内整理 店内の整理	商品発注 在庫確認・発注
本来の工程					
障がいのある社員が担当	すべて：定期便の荷下ろし	すべて：商品の補充・陳列	すべて：売場の商品の整理	すべて：買物カゴ・カートの回収・整理	一部：一部商品の発注・在庫確認

※本人の能力や特性に応じて作業内容は異なります。

補助業務を切り出し社員の負担を軽減

入社後は、実習で経験した業務をベースに、適性や本人の意欲を見ながら少しずつ仕事の幅を広げていきます。「障がいの有無にかかわらず、パートナー社員共通のマニュアルはありますが、基本は実習からの積み重ねです。スーパーは日々繰り返す作業が多いので、実践の中で覚えていきやすいんです」。

新たな業務に挑戦する際は、支援機関の助言も参考にします。例えば、刃物を使う肉や魚の加工も危険だからと最初から除外するのではなく、ジョブコーチなどに相談しながらルールや手順を丁寧に指導。人手不足が課題の加工部門を担える人材が育つことは店舗にとっても大きな支えになるといいます。また、補助的業務の切り出しを行い、職場全体の効率化につながった例も少なくありません。

精肉部門の補助的作業の切り出し

以前は社員が商品の加工からスライサーの洗浄まで担当。

↓

洗浄作業を切り出し、障がいのあるパートナー社員にまかせる。

↓

社員の負担が軽減し、発注や売場づくりなど別の業務に時間を充てられるようにに。全体の作業効率も向上。

補助的業務は清掃やカート回収・整理など多岐にわたり、役割分担の見直しは各部門に広がっています。

こうした理解と支えのある環境の中で、障がいのある社員も着実に成長しています。グロサリー部門でドリンクを担当する清水さんは今年で9年目。今では難しい発注もこなし、後輩の指導も担う頼れる存在です。海産部門で19年目を迎える佐藤さんは、商品の製造・加工や値札貼りなどを担当。魚介類は日々仕入れが変わるため、産地と価格を書いた紙を商品に添えたり、専門用語をかみ砕いて伝えたりする工夫はありますが、基本的な指導は他の従業員と変わりません。明るい人柄で職場を和ませるムードメーカーとして、慕われています。

Voice!



入社9年目
清水 聡さん（知的障がい）

最近、売場構成が変わり、お酒も一部担当するようになりました。覚えることが多く苦戦していますが、メモを取りながら少しずつ勉強中です。自社ブランドの商品についても学び、早くお客様の「なぜ？」に答えられるようになりたいです。ここまで続けてこられたのは、時に厳しく指導してくれた社員さんと、優しく見守ってくれたお客様のおかげ。指導した後輩が成長しているのも嬉しいです。

新たな環境をさらなる雇用の力に

今年3月にイオン九州の一員となったトキハインダストリー。イオングループも長年障がい者雇用を行っており、「入社後すぐ作業手順を確認できる動画マニュアル」「正社員登用」など一歩進んだ取り組みを行っています。「現在、障がいのある方は全員パートナー社員ですが、将来的には正社員登用も検討しています。動画マニュアルも障がいに関わらず活用できますし、参考になることが多いですね。この業界は高齢化が進んでいるので、障がい者雇用には大きな可能性を感じています」。環境の変化を追い風に、業界の課題解決につながるより良い雇用のあり方を模索しています。



▲商品陳列をする佐藤さん。

動画公開中



おからまぶし製造

佐藤さんは週3回、大分の郷土料理「おからまぶし」を製造。19年目を迎え、手慣れたもの。生活面では、現在も必要に応じて支援機関のサポートを受けており、それも安定就労につながっています。



カート回収・整理

お客様に配慮しながら駐車場や店舗外へ移動したカートを入口へ戻します。以前は社員がやっていましたが、補助的作業として切り出し、清水さんが担当することで、全体の効率化に。



発注作業

売れ行きと在庫の状況を見ながら発注。「社員2人がチェックしますが、担当者が休みの日も清水さん自ら他の人を探して確認してくれるので安心です」と上司の広瀬さんも信頼を寄せています。